科目名　クラス　講義区分

経済学特講-ファッション産業論　＜通期＞

【教員氏名】
富澤　修身
研究室:兼任講師控室
メールアドレス:

【授業形態】
講義

【講義・演習概要】
まず、現代のファッションとファッション産業を概観する。第1部「資本主義社会とファッション」では消費生活サイドから論じる。第2部「ファッション産業論」では供給サイドから論じる。第2部では、ファッションビジネスのグローバル競争を論じた後、クリエーション、マーケットイン、情報技術の活用、広告、グローバル化、都市とファッション、地球環境配慮とユニバーサルファッションについて論じる。最後にクリエイティブライフを論じる。なお、最新の内容は、補足資料を用いて論じる。

【学習目標】
身近なファッションを題材にして、学問をする意味や楽しさを学ぶ。ファッションの奥深さを実感して欲しい。また、ファッションビジネスに関心のある学生は、1年間受講すれば、ファッションとファッション産業についての十分な知識を修得することができる。就職活動にも必ず役立つ。

【講義計画】
第 1 回:はじめに
第 2 回:1. 社会、衣服、ファッションビジネス(1)
第 3 回:1. 社会、衣服、ファッションビジネス(2)
第 4 回:2. 資本主義社会における消費(1)
第 5 回:2. 資本主義社会における消費(2)
第 6 回:3. 衣服の変化とファッション現象(1)
第 7 回:3. 衣服の変化とファッション現象(2)
第 8 回:3. 衣服の変化とファッション現象(3)
第 9 回:4. 20 世紀後半日本の消費生活と衣生活の変化(1)
第 10 回:4. 20 世紀後半日本の消費生活と衣生活の変化(2)
第 11 回:5. 世界繊維産業の見取り図(1)
第 12 回:5. 世界繊維産業の見取り図(2)
第 13 回:6. 3大繊維市場圏の形成とファッションビジネスの変容(1)
第 14 回:6. 3大繊維市場圏の形成とファッションビジネスの変容(2)
第 15 回:7. 日本のファッション産業システム(1)
第 16 回:7. 日本のファッション産業システム(2)
第 17 回:7. 日本のファッション産業システム(3)
第 18 回:8. ファッション産業システムの情報化(1)
第 19 回:8. ファッション産業システムの情報化(2)
第 20 回:9. ファッションコミュニケーションの構造と消費者行動(1)
第 21 回:9. ファッションコミュニケーションの構造と消費者行動(2)
第 22 回:10. 縫製基地としての中国と消費市場としての中国都市部(1)
第 23 回:10. 縫製基地としての中国と消費市場としての中国都市部(2)
第 24 回:11. ニューヨーク市のファッションビジネスとアパレル産業(1)
第 25 回:11. ニューヨーク市のファッションビジネスとアパレル産業(2)
第 26 回:12.都市生活のファッション化とファッションビジネス創造(1)
第 27 回:12.都市生活のファッション化とファッションビジネス創造(2)
第 28 回:13.繊維アパレル産業と社会的責任(1)
第 29 回:13.繊維アパレル産業と社会的責任(2)
第 30 回:14.終章

【成績評価の方法】
試験評価:70%　レポート:15%　出席:15%
学期末の試験は、レポート試験とする。
その他に、小レポート提出と出席確認は、抜き打ちで行う。

【使用テキスト】
富澤修身『ファッション産業論』創風社

【参考文献】

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】
毎回講義終了時に、次回の講義の範囲となる教科書のページを指定して、予習の指示を出す。事後学習としては、講義ノートの点検整理を行わせる。

【その他備考(担当教員用)】

【備考(管理者用)】